

アプリケーションカタログ

亜鉛メッキ液中の塩素イオンの定量

関連業界	:	無機工業品
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/沈殿滴定
関連規格	:	JIS K 8150-2006, 日本薬局方

1. 概要

亜鉛メッキ液中の塩素イオン (Cl⁻) の定量は、必要に応じて試料に純水を加えて希釈したものを、電位差滴定法により0.1mol/L 硝酸銀溶液で当量点まで滴定します。当量点は、滴定曲線上の最大変曲点です。硝酸銀溶液の滴定量から塩素イオン濃度を算出します。

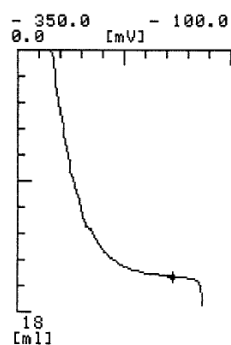
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (標準プリアンプリファイア: STD)
電極	:	銀電極 硫酸水銀比較電極

3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L 硝酸銀溶液 (f = 1.00)
滴定溶媒	:	純水

4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	Sample (mL)	titer (mL)	Chlorine ion (g/L)
1	0.40	15.6054	138.30
2	0.40	15.5244	137.58
3	0.40	15.5238	137.58
平均			137.82
偏差			0.42
RSD (%)			0.30

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>